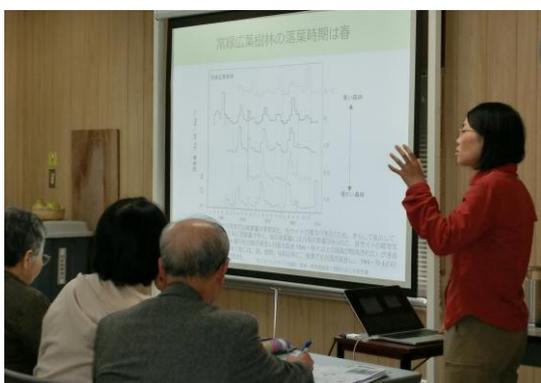


京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H28年11月19日(土)

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座(森里海連環学)」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センターの石原正恵准教授による講義「長期観測から見えてきた森の時間」と、徳山試験地の見学が行われました。18名の参加者の皆さんは講義を熱心に聴講され、講義後の質疑応答では多くの方が積極的に質問をされました。また、森の見学では、紅葉の美しい様々な樹木や、檜皮採取の対象となる檜などを観察することができました。



森の樹木の長期観測等から得られるデータを活用した研究について、図表で分かりやすく解説していただきました。

紅葉した木々の様子



檜皮実験林の見学



講師の先生と参加者の皆さんで記念撮影

